

船舶事故等調査報告書

平成21年2月26日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2008仙第44号	
事故等名	貨物船祥栄丸座洲	
発生年月日時刻	平成20年11月10日06時10分ごろ	
発生場所	青森県尻屋岬港	
事故等調査の経過	調査の概要:平成20年12月5日仙台・地方事故調査官が海難報告書を精査 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
認定した事実 船種・船名・総トン数 船舶番号 船舶所有者	貨物船 祥栄丸 499トン 134585 阿部汽船株式会社	
乗組員等に関する情報	船長 四級海技士(航海)	
負傷者	負傷者なし	
損傷	なし	
事故等の経過	本船は、秋田船川港において石膏1,316トンを積載して、船首3.30m、船尾4.10mの喫水をもって出航し、青森県尻屋岬港に入港して1.2ノットの速力で同港1号岸壁に左舷付け接岸中、平成20年11月10日06時10分ごろ、船首船底付近に異音及び振動を感じ、停止した。 当時の天候は晴で、風力2の北東風が吹き、潮候はほぼ低潮時であった。 その結果、運航に支障なく、作業船に左舷船首外板及び右舷外板を押しもらいながら1号岸壁に接岸した。	
事実を認定した理由	気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析	なし あり なし 海図W1158によれば、尻屋岬港1号岸壁前面の水深は、最深部が3.7mで、底質は砂となっていることから、本船は、水路調査を十分に行っていなかったものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が接岸するにあたり、水路調査を十分に行わなかったため、浅所に底触したことにより発生したものと考えられる。	
その他の事項	なし	